

令和7年度 狭山市立広瀬小学校 学校関係者評価表

※【評価の目安】

- A: よくできている (90%以上)
- B: 概ねできている (75%以上)
- C: あまりできていない (60%以上)
- D: できていない (60%未満)

目標領域	番号	項目	評価	自己評価 改善策・説明	学校関係者評価委員から評価 (文章表記)
よく考え行う子	1	児童は、相手に届く声で話したり音読したりしている。	B		<p>【1】について</p> <p>音読については、家庭での確認が必要だと思う。いかに斜め読みのような音読では定着しにくいと思う。他市の小学校では、音読テストをとったことになる。音読に力を入れている子どもは、家庭で保護者が嬉しいという理由から子供に音読を聞くことがないが、音読の文脈や活字にも問題があり授業中の復習も家庭でできていないというデータがあった。</p> <p>○授業参観の際、このクラスの児童も、授業中に大きな声で、とどろきと話し合っている様子が見られました。クラスが落ち着いていました。</p> <p>【2】について</p> <p>○先日、東大の酒井教授の講演会に参加して、終了後、ブライントッチの影響で、筆圧や文字の書き方、形の問題が子どもたちの課題になっているとお話があった。個人的に、言語課題や発語課題についてお話を伺った際には、学校の課題ではなく幼児期からの書くこと活字と取り扱ってほしい。小学校では保護者の協力が重要で、保護者への指導も必要と指摘頂いた。</p> <p>○文字を大きく、ゆくり、丁寧に書く、筆順止めは低学年で徹底させる。筆順時の文字も丁寧に書くことを心がける。</p> <p>○低学年のうちはきれいに書くことは時間がかかるため、急いでいる時は無理をさせないことが大切だと思います。たとえば宿題の最初の3行だけは本気でかこう!!といったスモールステップから始めるのもいいのではないかと思います。まず、あせらず家庭で書くことが楽しいことを経験させることが一番だと思います。</p> <p>○姿勢や筆圧の持ち方等については、特に低学年時の基本です。学校だけでは、カバーしきれないと考えます。連絡ノート等使い是非家庭の協力をお願いしたいです。</p>
	2	児童は、文字を丁寧に書いている。(書写以外の普段の学習も)	C	・「姿勢・筆記具の持ち方・書く習慣・意識づけ」の4つを軸に丁寧な文字を書かせるための指導を継続して行う。課題であり、ねばり強く取り組んでいく必要がある。	<p>○家庭学習も同様に、家庭の協力と共に、どんな小さな宿題でもその児童なりに努力をした、褒めてあげることが大事だと思います。また、保護者に対しては、褒めてあげることが子育ての励みになると思います。「あんなまた 宿題忘れたの」と保護者は、子どもに言われて、がっかり。言葉は、大事です。宿題は児童と先生の約束です。毎日の積み重ねは大切です。子育てや仕事の悩みを抱えている保護者の皆様は、子育てという未知の体験に挑戦しています。</p>
	3	児童は、進んで家庭での学習に取り組んでいる。(塾等での学習を含めて〔10×学年〕分)	C	・宿題により家庭学習の習慣を身につけさせたい。プラス自主学習に取り組むことにより、主体的に学習に取り組む態度を育てたいが、取組には差があるので、家庭の協力を得ながら、意欲・質の向上を図ってきたい。	<p>○家庭学習も同様に、家庭の協力と共に、どんな小さな宿題でもその児童なりに努力をした、褒めてあげることが大事だと思います。また、保護者に対しては、褒めてあげることが子育ての励みになると思います。「あんなまた 宿題忘れたの」と保護者は、子どもに言われて、がっかり。言葉は、大事です。宿題は児童と先生の約束です。毎日の積み重ねは大切です。子育てや仕事の悩みを抱えている保護者の皆様は、子育てという未知の体験に挑戦しています。</p>
	4	学校(教員)は、わかりやすい授業に努めている。(めあての明示、児童が自分の言葉でまとめる授業の展開)	A	・めあての提示、自分まとめ、ふり返りを意識した授業を展開し、学習内容の定着に努めている。GIGA端末・電子黒板を活用し、確実に学力の定着や向上に向けた取組を展開している。(狭山市学力向上「チェレンジ・プラン」提言6に重きを置いた授業への指導改善)	<p>【3】について</p> <p>○授業参観をした時、タブレットの扱いが若干な児童があり、教室全面に大きな映像が写し込まれていました。新しい学習環境です。学習にける児童も人差し指は大きいです。担任の先生は、いろいろ工夫をして授業をしています。</p> <p>【4】について</p> <p>○取組む姿勢や理解は個々の興味関心から生まれ、継続することで展開していくように思いますが、先生方の努力や意識した取り組みが徐々に学習の定着に繋がっているのだと読み取りました。学校教育において学びは家庭との連携でもあり、取組の進捗については協力を得るための対応の模索が今後必要かと思えます。保護者の関心が高い低学年から理解をいだける家庭が増えれば、学習についての評価も変化していくのでしよう。</p> <p>○学校のいろいろな教科や生活の中の子供一人ひとりの良い点を褒めることにより、子どもが「頑張る」が楽しく思えるようになります。その子により適切な褒め言葉と褒め言葉をします。子供が「気づく」ことが大事だと思います。</p> <p>○埼玉県の立上、他市の文科省のハイロケット校の見学に行っているが、広瀬小の先生でデジタル黒板の活用と子どもたちのタブレット使用で、一方でではない授業をされていなくて、今年、文科省は、デジタル教科書を推進されているが、昨年12月の文科省のシンポジウムで話されていたが、狭山市の対応はわからないが、語彙力、読解力の定着も必要ではないかと思う。狭山市内の小学校で、国語辞書を授業中に活用されている先生もいるが、脳科学的効果と文法的理解も大切にして欲しい。しかし、学力向上は、学校の授業だけでは、保護者の理解が重要かと思えます。</p> <p>○習慣を身につけるには、学年や発達段階に合わせた取り組みが重要で、低学年(1~2年生)：勉強の楽しさを知ることが大切で、親子で一緒に勉強したり、ゲーム感覚で学ぶ教材を取り入れたりと良いです。中学年(3~4年生)：目標設定や計画を立てる練習を始める。小学生の達成感を味わうことで、やる気を引き出すことができます。高学年(5~6年生)：自己学習・問題解決力を育てる練習です。ヒントを与えず、すぐに答えを教えないように心がけが大事だと思います。</p> <p>○保護者の方の関わり方は、お子さんの学習に大きく影響します。</p> <p>○環境整備：ゲームや漫画など、気が散るものを身の回りに置かず、勉強に集中できる環境をつくる。</p> <p>褒めて励ます：できたことを具体的に褒め、達成感を味わわせてあげること、やる気が向上します。</p> <p>○一緒に学ぶ：親が勉強する姿を見せることで、お子さんも自然と勉強に向かうことがあります。</p> <p>○ルーティン化：毎日決まった時間に勉強することで、習慣化しやすくなります。家庭だけでサポートが難しい場合は、通信教育や学習塾など、外部の力を借りることも有効だと思います。</p>
	5	学校は、学習内容が子供に身に付くように努めている。(「個別最適な学び」「協働的な学び」など)	B	・学力向上については、課題であり、今後も継続して取り組んでいく必要がある。	<p>【5】について</p> <p>○保護者の方の関わり方は、お子さんの学習に大きく影響します。</p> <p>○環境整備：ゲームや漫画など、気が散るものを身の回りに置かず、勉強に集中できる環境をつくる。</p> <p>褒めて励ます：できたことを具体的に褒め、達成感を味わわせてあげること、やる気が向上します。</p> <p>○一緒に学ぶ：親が勉強する姿を見せることで、お子さんも自然と勉強に向かうことがあります。</p> <p>○ルーティン化：毎日決まった時間に勉強することで、習慣化しやすくなります。家庭だけでサポートが難しい場合は、通信教育や学習塾など、外部の力を借りることも有効だと思います。</p>
思いやりのある子	6	児童は、進んで挨拶をしている。	B		<p>【6】について</p> <p>○挨拶は、まず親が手本を見せるのが近道だと思います。子供に「挨拶しなさい」と言うよりも、親が近所の人や店員さんに「こんにちは」「お世話です」と楽しく挨拶している姿を見れば、子供も自然と挨拶しようとするようになります。子供にとって挨拶は挨拶の心でも強制するものではなく「気持ちいいもの」としてインプットされたいと思います。まず、家庭で早起したら「おはよう!!」「グッドモーニング」からゲーム感覚で楽しませよう。私は家庭でそうしています!!</p> <p>○登下校時に長年、児童委員が見守りを行っています。朝は、少し眠い為か、元気がない時がありますが、やはり、そこそこ自然に挨拶をしていられる様子が見られます。挨拶は、一生の課題です。大人が見本を示すと、自然に分かっていくと考えます。</p> <p>○病院や施設等に用事があって行く時、「こんにちは」「ありがとうございます」と誰にも挨拶を交わしてくれると大変うれしく思えます。挨拶は、一生の課題であると共に、自己表現と捉え方も違うのではないかと考えます。先生は、子どものモデルです。先生向きの挨拶もいいですね。子どもは、見ています。</p>
	7	児童は、相手を思いやるやさしい言葉づかいをしている。	C	・教師による率先垂範、児童による挨拶運動を継続して行うことで、挨拶の大切さを実感させている。広小おたすけ隊、あたり前ヒロセペンを徹底していく。	<p>【7】について</p> <p>○言葉使いの悪い児童には、必ず、良い言葉を意識させる。</p> <p>○感情の多様性の理解</p> <p>自分から感情を表現を持つこと、そして怒りや悲しみだけでなく、喜びや不安、罪悪感や自尊心など、感情には様々な種類や複雑さがあることを理解することが必要です。この感情の多様性を理解することが、思いやりを育む上で重要なステップではないでしょうか。</p>
	8	児童は、集団のために活動している。(係活動、当番活動、清掃など)	B	・自分のことだけでなく、相手のことも考えられる、自分も相手も大切にできる児童を育てていく。懇談会時や便り等で家庭の協力も呼びかけている。	<p>【8】について</p> <p>○率先して、係・当番・清掃などしている児童を皆の前で褒める。</p> <p>【9】について</p> <p>○いじめは、絶対にゆるしてはいけなことを児童の心に植え付ける。注意を怠らず、未然に防止する。</p> <p>○嫌なことは、「嫌」とはっきり表現できる子を育てることにより、いじめは、少なくなるのではないかと考えます。そして、いろいろなことに自信をもっていききたいと思えます。</p> <p>○前日、家庭で親や兄弟、姉妹とのトラブルなどを抱えて、登校している場合は、元気がなく、いじめの対象になりやすいのではないかと考えます。また、逆なららして、人をいじめられる側になってしまうケースも見られます。また、父母が仲がいいことが子どもの成長にとって大事なことだと思います。</p>
	9	児童が学校は楽しいと思えている。	B	・いじめ等の防止のために日頃から児童の様子に注意を払うとともに、アンケート調査を実施した。いじめ防止を目指す取組として、「さやまっ子の誓い」が制定されている。この誓いに従って、児童会を中心にさまざまな活動に取り組んでいる。埼玉県警察による非行防止のための学校支援・スクールサポーターとも連携している。	<p>【10】について</p> <p>○共感と受容、納得する指導は、いいですね。時間がなければ、タブーです。</p>
	10	児童にいじめを許さない心を育てるとともに、いじめの早期発見・早期対応に努めている。	A		<p>【11】について</p> <p>○広瀬小学校は、笑顔で先生や友達とつながり、尊重あって共に生活できる学校を目指していると思えます。</p> <p>○スクールサポーターが10月1日から入ったが、そのお知らせも校長先生はスクリーンでお知らせしているのに保護者がきこなかったことが残念だ。県議の役員会でもお話ししたが、先生方も一生懸命。子どもたちの為に自分たちの休みの時間も使っているのに、P.Aははじめ、保護者が学校の教育環境の為、しては子どもたちの為なのに、学校任せというように理解できなかった。過去に、息子の時に西中にもスクールサポーターがあったが、先生方から学校に来てくださると依頼もあり、見守り活動もP.Aで取り組んでいたが、今回の広小の保護者は積極的な気持ちを持って1月22日の県議の役員会の時に広小のことを聞かれ、先生方が授業に専念できているのか、先生の負担はというと個人的には理解できないが、先生方は子どもたちのために頑張っていること、今の連携を考えると、今の現状だとスクールサポーターの長期支援は必要だと依頼した。</p> <p>○家庭内教育として、子どもが経験したことを一緒に話し合い、「今日どんなことがあった?」「どう思った?」と尋ね、子どもの気持ちに共感してあげよう。先生方により、子どもはネガティブな感情からも解放され、感情豊かに育つ環境への取り組みをご提案いたします。</p> <p>○学習の向上についても関心は多いのですが、相手があって、場面が変化していくと、子どもは対応しきれない時、人間関係について悩む子どもは多いように思えます。相談できる相手がいれば抱え込まない環境を受け止めてくれる存在にいられたら心持ちは開放されることもあるはずですが、言葉や態度で簡単に加味付け、傷つけられしてしまうことも起きうると思えます。今回の結果は家庭による模範も加味されているので言葉遣いなどは実際どのようなふうかどうかと推察しています。見た目では可視化できない問題や感情に左右される人間関係はともかく、これはありです。この年間でたくさんの喜びや成長を経験してほしいと願う先生方の努力と対応に感謝しています。</p>
	11	道徳の授業を中心に、教育活動全体を通じて心の教育に努めている。道徳の実践力を高めるように指導している。	A	・児童間トラブルの聞き取りの際は、共感と受容を大切に、児童が納得する指導・解決を目指している。	
	12	学校は、児童が安心して過ごせるあたたかな学級(授業)を作っている。	B	・一人一人に寄り添って対応している。教職員との信頼関係のもと、児童が安心して学校生活を送れるように努めている。	

たくましい子	13	児童は、何事にもあきらめずに最後まで取り組んでいる。	B		【13】について ○多様な個性を伸ばす教育は、教育現場に新たな課題をもたらすと思います。教師の負担地、子ども一人ひとりの個性に合わせた教育方法を考えることは、教師にとって大きな負担となります。多くの生徒の個性を深く理解することは難しいという現状があり、表面的な個性教育に留まってしまう危険性があると思います。 画一的な教育からの脱却：従来の学校教育は、一斉指導を中心とした画一的な側面があり、多様な学びのスタイルに対応できていない現状があります。子どもも自ら主体的に学ぶような柔軟な力やチームや、興味・関心に応じた学習機会の提供が求められ検討が必要。 【15】について ○生活習慣アンケートを実施して分析し、保護者への啓発は、大変意義あり、効果が期待されると思われます。 【20】について ○児童が安全に登下校できるように、民生・児童委員や元民生・児童委員、自治会の人、保護者が見守りをしています。大勢の地域の方々の協力により、児童は、安心・安全に生活を送ることができるとしています。【20】について担任の健康チェックが大助。児童の日頃の生活を把握しておく。業間休みに、外に出て縄跳びやドッチボールなどしていることが良い。 【21】について ○自身の体力向上のためだけでなく意欲を育てる働きにより体を動かすことを好む子どもたちが多くを実感しています。また体力向上を通して危険を回避できる力も育んでいるように思います。できるできないが見えやすいスポーツもありますが、それまでのプロセスや自身の努力が自信へと繋がっていく体力づくりはとても大切なことだと思います。脳や体を動かす活力となる朝食の摂取については家庭との理解、協力は必須だと思いますが、朝、食事を食べるといふ習慣や体が食事を欲する感覚もあいまいになってきたご時世であることも痛感します。食べる食べないに大きく関係する根本的な生活リズムのずれについて乳児期からできるアプローチを一緒に考えていきたいと思います。 【18】について ○学校は、家庭としっかりサポートするのが一番だと思います。学校の先生ができること、教えることは限界があると思います。児童が進んで運動することも、毎日早寝、早起き、朝ごはんを食べることも、やっぱり家庭環境がしっかりしていないとだめだと思います。ゲームやインターネットの遊びを家庭がしっかり管理し、勉強、運動が低下しないように、りくくしていないといけないと思います。ルールを決める。「思っている」「挨拶する」「たくましく」これらすべて繋がっています。 【22】について ○ちょっとした心の油断を指摘する。問題、課題を把握しておくことも大事。 【23】について ○担任に何でも話せる雰囲気が必要。
	14	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B	・夏季休業中を利用した体育指導技術の向上のための研修を、日々の体育指導に生かしている。	
	15	児童は、早寝・早起きを朝ごはんを食べて登校している。	C	・外遊びの励行などにより、体力向上に努めている。	
	16	児童は、交通ルールを守り、安全な歩行（登下校・校外学習）をしている。（廊下歩行含む）	C	・ひろせつ子生活習慣アンケートを実施し、結果をまとめたプリントを作成し、保護者への啓発を行った。	
	17	学校は、体力を向上させるための指導や環境づくりに取り組んでいる。（運動量を確保した授業を展開している。）	A		
	18	学校は、児童の安全確保に努めている。（安全指導、清掃、修繕等）	A	・安全な登下校ができるように、各学級・交通安全教室等で継続して指導している。交通指導員、スクールガード・リーダー、見守りボランティアとも連携している。	
	19	学校は、健康観察を丁寧に行っている。	A		
	20	学校は、健康づくりに進んで取り組めるよう指導している。	B	・安全点検（日常・定期・臨時）を行い事務職員、校務員、教育施設管理課と連携しながら、危険箇所は修繕を行うなど対応している。	
	21	学校は、治療が必要な児童に適切に治療勧告している。	B		
	22	学校は、事故に対する対応を適切にしている。	A	・保健指導・保健だより・保健掲示・学校保健委員会・懇談会等を通して、児童に心身の健康の大切さを伝えたり、家庭へ啓発を行ったりしている。	
23	学校は、性に関する指導を共通理解のもとに行っている	B			
24	学校は、給食指導を適切にしている。	B			
公開・連携	25	学校は、学校や教育活動の様子が伝わるようにしている。（学校公開、授業参観、懇談会、学年だより、電話・連絡帳、スクリーンなど）	A	・学校公開、スクリーンによる便りの配信、「広小の笑顔」や学年便りへの活動の様子がわかる写真掲載など、教育活動の様子が伝わるように工夫した。	【25】について ○スクリーンによるクラス、学年便りの配信や、広小の笑顔では、活動や子どもたちの様子がわかり、保護者も安心です。電話やスクリーンなど活用して、学校と保護者の間に距離感を感じさせないよう努めています。○学年、クラスに関する連絡は、独自の連絡網でして、スクリーンでは、学校全体で周知徹底させる連絡をしたらいでは、スクリーンだけでは、保護者への伝わりが弱いと感じています。○学校公開、スクリーンの配信により、活動の様子が写真で掲載されて大変分かりやすいです。 【26】について ○学校は、地域の人々との交流を教育に積極的に取り入れており、児童が地域を学ぶ良い機会になっています。特に公民館等の多様な人々と交流し、その成果が見られているように思います。子どもは、地域の人、物、文化等に触れ自分の興味・関心を広げ、自分探しをしているかもしれません。○特に、本年50周年事業の実行委員長や保護者の方々の結束力は、素晴らしいと思います。子どもを重んじた上で、記念事業企画には、感謝したいと思っています。校長先生、教頭先生のサポート本当にご苦労さまです。○地域との連携がスムーズになってきている。公民館との連携のように、他の団体の連携も期待できる。
	26	学校は、保護者が教員と相談しやすい環境をつくっている。	B	・個人面談の他に、何か気になることがある時には、連絡帳、電話などで、年間を通していつでも担任へ相談できる体制を取っている。また、担任以外にも相談することができるようさやまっ子相談員やスクールカウンセラーが配置されている。	【26】について ○保護者から集金したお金は、大切なものです。公明盛大に支出状況をお知らせすることは、義務です。保護者と学校の信頼関係を築く上でも重要です。○先日、広小の子どもの公民館のサクルさんとのお取り組みが新聞に掲載されたが、地域との連携、文化の伝承という点では、学校だけでは出来ない学びを実施している小学校として、他市に講演に行った時や、埼玉県の会議に出席した時にお話を頂いた。○開校50周年記念行事で、本当に学校・保護者・地域の方との連携がとまらずに、感動しました。これからのたくましく活動していきます。○小学生と公民館が連携することには、地域コミュニティの活性化や子どもの健全な育成に多くのメリットがあります。公民館が地域に密着した社会教育・生涯学習の拠点として、子どもたちが地域と関わる機会を提供するにあたり今後もより多様な価値観をと思っています。公民館の利用者が、小学校の活動で指導にあたるなど、地域全体で社会教育を推進する例もあります。これにより、公民館が地域の人々ともたの交流の場となり、地域が一体となって子どもたちを育てる環境が生まれることを期待します。○地域との連携や地域を巻き込んだ取り組みはこの地域ならではの大きな魅力であると思います。可能性を精査し互いに情報を発信しあいが児童の皆さんにとって良い経験が重なっていくとよいですね。小さなことから大きな未来を育てることもあると思いつながりながら地域の方にも育てていきたいと思っています。
	27	学校は、保護者や地域との連携に努めている。（保護者・PTA、幼稚園・保育園、中学校、公民館や図書館などとの連携）	B	・外部指導者の専門性や地域資源を活用し、多様な体験を通じて主体的に学び、生きる力を育んでいる。	【28】について ○保護者から集金したお金は、大切なものです。公明盛大に支出状況をお知らせすることは、義務です。保護者と学校の信頼関係を築く上でも重要です。○先日、広小の子どもの公民館のサクルさんとのお取り組みが新聞に掲載されたが、地域との連携、文化の伝承という点では、学校だけでは出来ない学びを実施している小学校として、他市に講演に行った時や、埼玉県の会議に出席した時にお話を頂いた。○開校50周年記念行事で、本当に学校・保護者・地域の方との連携がとまらずに、感動しました。これからのたくましく活動していきます。○小学生と公民館が連携することには、地域コミュニティの活性化や子どもの健全な育成に多くのメリットがあります。公民館が地域に密着した社会教育・生涯学習の拠点として、子どもたちが地域と関わる機会を提供するにあたり今後もより多様な価値観をと思っています。公民館の利用者が、小学校の活動で指導にあたるなど、地域全体で社会教育を推進する例もあります。これにより、公民館が地域の人々ともたの交流の場となり、地域が一体となって子どもたちを育てる環境が生まれることを期待します。○地域との連携や地域を巻き込んだ取り組みはこの地域ならではの大きな魅力であると思います。可能性を精査し互いに情報を発信しあいが児童の皆さんにとって良い経験が重なっていくとよいですね。小さなことから大きな未来を育てることもあると思いつながりながら地域の方にも育てていきたいと思っています。
	28	学校は、学年・行事等の会計を適切に処理し報告している。	A	・毎学期末、予算執行状況を複数の目で確認し事故を防いでいる。	【28】について ○保護者から集金したお金は、大切なものです。公明盛大に支出状況をお知らせすることは、義務です。保護者と学校の信頼関係を築く上でも重要です。○先日、広小の子どもの公民館のサクルさんとのお取り組みが新聞に掲載されたが、地域との連携、文化の伝承という点では、学校だけでは出来ない学びを実施している小学校として、他市に講演に行った時や、埼玉県の会議に出席した時にお話を頂いた。○開校50周年記念行事で、本当に学校・保護者・地域の方との連携がとまらずに、感動しました。これからのたくましく活動していきます。○小学生と公民館が連携することには、地域コミュニティの活性化や子どもの健全な育成に多くのメリットがあります。公民館が地域に密着した社会教育・生涯学習の拠点として、子どもたちが地域と関わる機会を提供するにあたり今後もより多様な価値観をと思っています。公民館の利用者が、小学校の活動で指導にあたるなど、地域全体で社会教育を推進する例もあります。これにより、公民館が地域の人々ともたの交流の場となり、地域が一体となって子どもたちを育てる環境が生まれることを期待します。○地域との連携や地域を巻き込んだ取り組みはこの地域ならではの大きな魅力であると思います。可能性を精査し互いに情報を発信しあいが児童の皆さんにとって良い経験が重なっていくとよいですね。小さなことから大きな未来を育てることもあると思いつながりながら地域の方にも育てていきたいと思っています。
教職員	29	全教職員で学校経営方針に基づき組織的に教育活動を進めている。	B	・全教職員で共通理解を図り、組織としてまとまった教育活動ができた。	【29】について ○地域が協力して、教職員が過重労働にならないようにサポートする。専門家の協力により教師の負担を軽減する。○知識伝達だけでなく、児童が主体的・協働的に学ぶ授業を展開する力や、特別支援教育、小学校英語、道徳教育、ICT活用など、多様な教育課題に対応できる総合的な指導力が必要だと思います。○校長先生、教頭先生、担任の先生が手を取り合って教育活動を進めている姿を感服します。担任の先生が休むとすると、校長先生、教頭先生がフォローに回ります。児童の授業を受け持つ授業担任がいまいました。これからは、協力体制を継続していきましょう。学校運営協力委員会議も、短時間で終了し、助かりました。短時間でも中味の濃い会議ができました。○今年度たんの先生方が興動された新たな企画小を皆様の力で育ててくださっていると感じています。勇気を持ってほしい。交流館においても若い先生方が前向きに多様な考え方を発表されておられることを感じました。どどん教育の場も変化していくとは思いますが「人間性を育てる」ということは人と人の関係から築かれていくので、先生方が心も体も元気であっていただくことが児童の皆さんの未来に繋がっていくことだと感じています。
	30	教職員が組織の一員として自分のよさを発揮して勤務している。	B	・倫理確立委員会や職集、事故・不祥事防止等チェックリストを繰り返し実施し、高い意識と責任感で業務に取り組んでいる。働き方改革・負担軽減を推進し、やりがいのある職場環境としていきたい。	【31】について ○今までどおり、子供たちと楽しく、明るく、だめな時はしっかりおこって、自己研鑽に励んでください。
	31	教職員が積極的に研修に取り組むとともに、自己研鑽に努めている。	B	・算数科の学校課題研究に取り組み、教職員が互いに学び合うことができた。	【31】について ○今までどおり、子供たちと楽しく、明るく、だめな時はしっかりおこって、自己研鑽に励んでください。